



平成25年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年6月10日

上場会社名 アヲハタ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2830 URL <http://www.aohata.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野澤 栄一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営推進本部長 (氏名) 矢萩 直秀 TEL 0846-26-0111
 四半期報告書提出予定日 平成25年6月13日 配当支払開始予定日 平成25年7月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年10月期第2四半期の連結業績（平成24年11月1日～平成25年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年10月期第2四半期	9,703	△0.8	503	△13.5	512	△12.9	320	4.0
24年10月期第2四半期	9,781	△1.3	581	△21.6	588	△21.7	307	△22.3

(注) 包括利益 25年10月期第2四半期 402百万円 (19.7%) 24年10月期第2四半期 335百万円 (△15.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年10月期第2四半期	46.53	—
24年10月期第2四半期	44.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年10月期第2四半期	14,055	9,871	69.2
24年10月期	13,251	9,520	70.8

(参考) 自己資本 25年10月期第2四半期 9,723百万円 24年10月期 9,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年10月期	—	7.50	—	7.50	15.00
25年10月期	—	7.50	—	—	—
25年10月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年10月期の連結業績予想（平成24年11月1日～平成25年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,800	2.3	850	△9.1	860	△10.0	540	3.7	78.41

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年10月期 2 Q	6,900,000株	24年10月期	6,900,000株
② 期末自己株式数	25年10月期 2 Q	13,024株	24年10月期	12,980株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年10月期 2 Q	6,887,002株	24年10月期 2 Q	6,887,128株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、東日本大震災の復興需要に加え、昨年末の政権交代後の経済政策や金融緩和政策に対する期待感から、円安が進行し、株価が回復するなど、輸出産業の収益持ち直しを背景に明るい兆しが見られました。一方では長期化する欧州債務問題や、新興国の経済成長の減速など海外景気の下振れに加え、失業率が依然として高水準にあるなどの懸念材料も多い状況で推移いたしました。消費者物価の下落テンポは緩和されつつありますが、食品の販売場面での低価格志向は継続しており、緩やかなデフレ状況にあります。また、円安の進行により、原油をはじめとする海外の輸入原材料の仕入れ価格は、高値で推移することが見込まれるなど厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画に基づく年度方針として、「1. 人材育成」「2. 国内事業の持続的成長」「3. 海外事業の着実な展開」「4. 品質視点経営」をテーマに掲げ、取り組んでまいりました。今春には、主力商品である「アヲハタ・55ジャム」シリーズをリニューアルし、売り場の活性化をはかりました。今回のリニューアルでは、酸化を防ぐ新製法と果物に含まれる「果糖」を採用したことで、開栓前のおいしさが持続し、香り立ちの良い、フルーツ本来の甘さに近づきました。パッケージも刷新し、選べる楽しさと開けやすさを実現するとともに、中容量タイプ、大容量タイプにつきましては、使い切りやすい容量に変更いたしました。また、スプーンで食べる練習が始まる生後12ヶ月頃の赤ちゃんが、“自分で食べる楽しさ”を体験できるジュレ状のカップ入りデザート「キューピー・ベビーデザート フルーツジュレ」シリーズに野菜入り2品を含む3品を追加発売いたしました。

売上につきましては、ジャム類は主力の「アヲハタ・55ジャム」シリーズと「アヲハタ・まるごと果実」シリーズが伸長し、ジャム類全体でも前年同期を上回りました。調理食品類は「キューピーやさしい献立」シリーズ、「キューピーあえるパスタ」シリーズは伸長しましたが、その他の調理食品はふるわず、調理食品類全体では前年同期を下回りました。産業用加工品類は、フルーツ原料販売は伸び悩みましたが、フルーツ・プレパレーションは伸長し、産業用加工品類全体では前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は97億3百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

利益につきましては、原材料価格が上昇したこと、研究開発費などが増加したことにより、営業利益は5億3百万円（前年同期比13.5%減）、経常利益は5億12百万円（前年同期比12.9%減）となりました。特別利益の補助金収入（環境投資に対する補助金）が生じたことなどにより、四半期純利益は、3億20百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8億4百万円増加し140億55百万円となりました。資産の増減の主な要因は、現金及び預金の減少6億70百万円、受取手形及び売掛金の増加3億57百万円、原材料及び貯蔵品の増加5億54百万円、機械装置及び運搬具の増加2億24百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億53百万円増加し41億84百万円となりました。負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加1億29百万円、短期借入金の増加4億20百万円などです。

また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億50百万円増加し98億71百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加2億68百万円などです。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ6億70百万円減少し、4億36百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果支出した資金は、3億45百万円（前年同期比3億7百万円の支出減少）となりました。主な増減要因は、税金等調整前四半期純利益5億27百万円に加え、仕入債務の増加1億28百万円、売上債権の増加3億55百万円およびたな卸資産の増加5億99百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、7億13百万円（前年同期比2億22百万円の支出増加）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得5億17百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、3億68百万円（前年同期比79百万円の収入減少）となりました。主な要因は、短期借入金の増加4億20百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、円安の進行による原材料価格の上昇など厳しい経営環境が続くことが予想されますが、平成24年12月10日の決算発表時に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,106,575	436,380
受取手形及び売掛金	3,238,985	3,596,392
商品及び製品	1,460,793	1,508,901
仕掛品	31,579	28,653
原材料及び貯蔵品	2,093,076	2,647,977
その他	221,665	271,080
貸倒引当金	△17,548	△18,720
流動資産合計	8,135,128	8,470,665
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,717,121	1,717,244
機械装置及び運搬具（純額）	1,128,026	1,352,424
土地	1,311,042	1,311,042
その他（純額）	129,362	132,308
有形固定資産合計	4,285,553	4,513,020
無形固定資産	69,443	77,793
投資その他の資産		
投資有価証券	410,528	547,221
その他	354,526	450,206
貸倒引当金	△3,582	△3,200
投資その他の資産合計	761,473	994,227
固定資産合計	5,116,470	5,585,041
資産合計	13,251,598	14,055,707
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,168,800	2,297,869
短期借入金	—	420,000
未払法人税等	226,316	191,476
賞与引当金	271,487	232,825
役員賞与引当金	7,709	1,901
その他	504,597	474,013
流動負債合計	3,178,910	3,618,085
固定負債		
退職給付引当金	445,486	460,743
資産除去債務	58,114	58,240
その他	48,271	47,426
固定負債合計	551,873	566,409
負債合計	3,730,783	4,184,495

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	644,400	644,400
資本剰余金	714,594	714,594
利益剰余金	7,949,423	8,218,230
自己株式	△13,610	△13,671
株主資本合計	9,294,808	9,563,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,888	123,842
繰延ヘッジ損益	△1,735	1,461
為替換算調整勘定	4,590	35,007
その他の包括利益累計額合計	85,742	160,310
少数株主持分	140,264	147,347
純資産合計	9,520,815	9,871,212
負債純資産合計	13,251,598	14,055,707

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
売上高	9,781,945	9,703,316
売上原価	8,269,154	8,215,099
売上総利益	1,512,790	1,488,216
販売費及び一般管理費	930,814	984,902
営業利益	581,975	503,313
営業外収益		
受取利息	245	371
受取配当金	2,425	2,568
受取賃貸料	12,114	12,054
為替差益	—	4,645
その他	3,433	2,047
営業外収益合計	18,218	21,688
営業外費用		
支払利息	425	353
賃貸費用	7,356	7,434
固定資産除却損	1,253	4,528
為替差損	2,392	—
その他	352	371
営業外費用合計	11,780	12,689
経常利益	588,414	512,312
特別利益		
補助金収入	—	15,153
特別利益合計	—	15,153
特別損失		
固定資産除却損	8,875	—
特別損失合計	8,875	—
税金等調整前四半期純利益	579,538	527,466
法人税、住民税及び事業税	225,243	188,730
法人税等調整額	48,227	11,177
法人税等合計	273,471	199,907
少数株主損益調整前四半期純利益	306,067	327,558
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,930	7,099
四半期純利益	307,997	320,459

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	306,067	327,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,292	40,954
繰延ヘッジ損益	3,930	3,180
為替換算調整勘定	10,619	30,417
その他の包括利益合計	29,842	74,552
四半期包括利益	335,910	402,110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	337,564	395,027
少数株主に係る四半期包括利益	△1,654	7,083

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	579,538	527,466
減価償却費	243,545	263,176
賞与引当金の増減額(△は減少)	△42,030	△38,661
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,163	△5,808
退職給付引当金の増減額(△は減少)	19,628	15,256
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,976	789
受取利息及び受取配当金	△2,670	△2,940
支払利息	425	353
為替差損益(△は益)	2,392	△4,645
有形固定資産除却損	10,129	4,528
補助金収入	—	△15,153
売上債権の増減額(△は増加)	△741,902	△355,565
たな卸資産の増減額(△は増加)	△701,022	△599,583
仕入債務の増減額(△は減少)	213,220	128,260
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△44,962	△48,689
その他の流動負債の増減額(△は減少)	11,159	△10,061
その他	△7,669	△6,206
小計	△461,403	△147,483
利息及び配当金の受取額	2,670	2,744
利息の支払額	△490	△419
補助金の受取額	—	15,153
役員退職慰労金の支払額	△30,200	△1,500
法人税等の支払額	△170,567	△220,174
その他の収入	7,552	6,288
営業活動によるキャッシュ・フロー	△652,437	△345,391
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△480,785	△517,188
無形固定資産の取得による支出	△10,460	△13,159
関係会社への出資による支出	—	△97,371
投資有価証券の取得による支出	△10,124	△126
その他	10,313	△86,108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△491,057	△713,953
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	500,000	420,000
自己株式の取得による支出	△144	△61
配当金の支払額	△51,336	△51,284
少数株主への配当金の支払額	△400	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	448,118	368,654
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,709	20,496
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△688,666	△670,194
現金及び現金同等物の期首残高	1,156,679	1,106,575
現金及び現金同等物の四半期末残高	468,013	436,380

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。